

会 議 録

会 議 名	令和3年度第3回丸亀市社会教育委員の会
開 催 日 時	令和3年9月28日（火）10時00分～11時15分
開 催 場 所	丸亀市役所3階303会議室
出 席 者	出席委員 大西 賢志・大村 隆史・久米井 直人・進 和彦・砂本 健 ・十河 靖典・高橋 勝子・藤田 裕子・宮武 恵美子・ 松永 美恵子・梶谷 孝啓・戸祭 直己・眞鍋 ひとみ・ 山下 弓子 欠席委員 原田 伸二 傍聴人 なし 事務局 小山部長・田中課長・高木副課長・上村副主任
協 議 案 件	議 事 (1) 市民向けアンケート結果について（資料1） (2) 現計画の総括（施策体系別における現状と課題）及び第4次計画への反映（資料2） (3) 計画骨子（案）について（資料3） (4) その他 報 告（社会教育委員対象） (1) 第63回全国社会教育研究大会石川大会の開催について (2) 第43回中国・四国地区公民館研究集会愛媛大会について
配 布 資 料	事前配付資料 ・「丸亀市生涯学習推進計画」に係るアンケート調査 結果報告（資料1） ・第3次生涯学習推進計画の実施状況に関する調査結果 その2（資料2） ・アンケート調査からみる現状と課題 ・課題を踏まえた今後の方向性 ・施策の体系（案）A3 ・施策の展開（案）カラー ・第3次丸亀市生涯学習推進計画 ダイジェスト版 ・第3次丸亀市生涯学習推進計画 冊子 ・丸亀市生涯学習推進計画骨子（案）（資料3） ・第4次計画策定にかかる社会教育委員及び特別出席者名簿

	<p>社会教育委員のみ以下</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第63回全国社会教育研究大会石川大会の開催について ・第43回中国・四国地区公民館研究集会愛媛大会開催要項（案） <p>当日配布資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第4回丸亀市社会教育委員の会 案内状
議事の経過 及び発言要旨	
事務局	<p>【開会】</p> <p>本日の会議につきましては、事前に送付いたしております『次第』に沿って進行させていただきますので、よろしくお願いたします。</p> <p>それでははじめに、会長よりご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>(会長あいさつ)</p>
事務局	<p>会長ありがとうございました。それではただいまから議事に入らせていただきます。丸亀市社会教育委員の会に関する規則第4条に、「会長は会議を招集し、これを主宰する」とありますので、会長に議長をお願いし、これからの議事進行について、よろしくお願いたします。</p>
会長	<p>【議事】</p> <p>それでは私が議長ということで、これからの議事を進めさせていただきます。</p> <p>議題1「市民向けアンケート結果について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>それでは、市民向けアンケート結果につきまして、ご報告いたします。資料1、「丸亀市生涯学習推進計画」に係るアンケート調査結果報告の1Pをご覧ください。今回の調査は、前回の調査より5年が経過いたしましたので、市民のみなさんの生涯学習に関する意識や考え方などの動向を再度調査して、その変化等を踏まえて、「第4次計画」の素案策定のための参考資料にするものでございます。</p> <p>調査対象が6月1日現在、市内に在住している18歳以上の方から無作為</p>

に3,000人を抽出して、6月22日に調査票を郵送いたしました結果、約1か月で、1,000人(33.3%)から回答がありました。

アンケート調査結果につきましては、市のホームページに結果を公表する予定です。

また、報告書の図のところ、回答率(%)は、その質問の回答数を基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。したがって、比率の数値が100%にならない場合がございます。

また、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがありますので、ご了承ください。

今回は、前回H28年度調査と今回R3年度調査についての棒グラフを並べており、比較できるようにしております。

2P、問1から順番にみていきますと、問1年齢、問2職業は、ほぼ同じ割合になっています。

問3「生涯学習活動」につきましては、「生涯学習活動は、していない」方が7%増加しています。原因としてコロナの影響によるものと思われ、オンラインの活用など、開催方法の工夫が求められております。

次に4P、問4「今後学習したい内容」につきましては、前回の調査同様「健康・スポーツ、趣味的なもの」が多くなっております。ニーズの高い講座の企画や講師の確保等が求められております。

次に5P、問5「学びの目的」ですが、前回同様「その学習が好きであったり、人生を豊かにしたりするため」が多くなっております。

問6「どのような機会を利用して学んでいるか」につきましては、前は「自宅での学習活動」となっておりましたが、今回は、「インターネット等」が多くなっております。

特に10代から50代に顕著に表れております。問7「今後利用したい機会」にきましても、「インターネット等」の回答が大幅な伸びを示しております。インターネット等を活用した講座や、インターネット等を活用できるようになるための講座等の企画が必要であります。

7P、問8「生涯学習を行っていない理由」につきましては、30～50代が「仕事が忙しくて時間がない」60代が「きっかけがつかめない」が多くなっております。

参加意欲につながるきっかけや、いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができるインターネット等を活用した講座や土日祝日に開催するなどの工夫が必要であります。

9 P、問9「生涯学習に関する情報の入手先」は広報誌が相変わらず多いものの、「インターネット等」が大きく伸びております。年代別につきましては、資料をご覧ください。

10 P、問10「生涯学習に関しての情報」につきましては、市役所やマルタス、図書館に関する情報が多いものの、「指導者や講師などの人材に関する情報」が伸びており、「人材バンクの整備」が課題となっております。

11 P、問11「生涯学習を盛んにしていくための取組み」としては、「図書館やコミュニティセンター等のサービス充実」のほか「学校開放の拡大」が多くなっております。公共施設の充実や学校・地域連携の強化が必要であります。

次に、問12「学んだ成果を地域社会で生かしたい」問13「どのような方法で生かしているか」については、半数以上が生かしたいと思っているが、何もしていないという結果となっております。「地域社会で生かす場」を作り出すところが課題となっております。

12 P、問14「学校を支援する活動」について、「参加したくない」と考えている人が「参加したい」と考えている人を上回っていますが、問15「学校を支援する活動」自体は、8割以上の方が「必要」と考えています。

先程の、学んだ成果を地域社会で生かす取組みとともに、学校を支援するための仕組みづくりが課題となっております。

13 P、問16「学校と地域の連携」につきましては、前回と同様「地域行事への児童の参加」、「地域の方による学校支援ボランティア活動」が多くなっており、双方向の支援が大切な取組みであるといえます。

問17「生涯学習を通じてのリーダー・指導者の養成に必要なこと」につきましては、前回同様「活動団体の情報を集め、広報することで啓発を図る」ことが多くなっております。「マルタスの市民活動団体」との連携や、「人材バンクの整備」等が課題であるといえます。

	<p>14P、問18「学習活動のスペース」ですが、前回同様「多目的ホール」や「研修室」の要望が多くなっております。コロナの影響か「交流サロン」などは減少しております。限られた施設の有効活用が課題といえます。</p> <p>問19、新設項目の「施設の使用料」につきましては、「条件をクリアしていれば無料にする」が約4割となっているものの、「条件をクリアしていれば一部減免」や「通常の使用料を支払うべきである」という、有料の意見の合計も約35%とほぼ同数ありました。</p> <p>使用料につきましては、「受益者負担の原則」に基づき、今後の検討課題となります。</p> <p>15P、問20～23につきましては、図書館の利用状況となっております。</p> <p>65%の方が利用しており、利用時間帯は、土日の利用が多くなっております。</p> <p>問23において、図書館の図書や情報の充実が求められており、社会教育施設としての役割が求められております。</p> <p>これらの市民向けアンケート結果を踏まえたうえで、後程説明があります「アンケートや調査からみる現状と課題」及び「施策の展開（案）」において、結果を青字で反映させておりますのでご確認ください。よろしく申し上げます。市民向けアンケート調査結果報告は以上でございます。</p>
会長	<p>只今の説明で、何かご質問はありますか。</p> <p>ないようですので、続きまして、議題2「現計画の総括（施策体系別における現状と課題）及び第4次計画への反映について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>まず、資料2と書かれている「第3次生涯学習推進計画の実施状況に関する調査結果 その2」をご覧ください。こちらが、第3次と第4次生涯学習推進計画策定に係る社会教育委員の方、ここにいる皆様にもご提出をしていただいたものですが、第3次の計画の3つの基本目標と第4次計画についての4つの項目についてまとめたものです。</p>

この中で出た意見をいくつかご紹介させていただきます。

まず、項目1の「学びのための環境作り」について、「生涯学習に関する啓発及び情報提供と学習施設の有効活用や、ライフステージ、現代的課題に対応した学習機会の充実について、成果（現状）や課題、また考えがあればご記入ください」という項目です。

コロナの影響で生涯学習施設の利用者や講座数が減っているため、オンラインを活用した講座を行う必要があるが、高齢者の方にはPCやタブレットの扱いが難しいため、まずはPC等の扱い方の講座を行う必要がある。

また、どこにいても学べる環境の整備、ZOOM等の利用の促進、地域コミュニティにより各団体がうまくとれていない地区がある。ICTを活用した機会をつくりICTが苦手な人にも使えるようにしていくくみが必要。

生涯学習を行う人材の確保ができず、実施している方が高齢化している。イベント、生涯学習参加者が高齢化している、若い方、中年層（主婦等）に参加を促すには、日時や開催時間の工夫が必要である。

また、社会教育施設の利用も減少しており、どのような学びが必要か、また、ニーズがあるかを検討が必要である。広報は紙面のみならず、電子媒体を積極的に活用していくことが望まれる。

指導者を探すことはとても大変なこと、生涯学習を行う上で子供達には身体や精神に障がいを持つ子への配慮が求められる。

コミュニティセンターでも活動するクラブは様々で数も多いと思われるが、その弊害で人間関係が出来上がっているサークル等には、敷居が高いと思われる人も多い。何年間に一度はクラブ活動を大幅、または一部刷新していく取り組みが必要ではないだろうか。

その時代、その時期のニーズに合った取り組みが必要。それぞれの範囲の中で、新しい講師の紹介やテーマの選択も大切で、時折そんな話し合いも必要。

調査結果より、主にはオンライン、ICTの活用、また参加者の固定化、高齢化、若い世代の参画の必要性、方法、それとニーズの把握、そのニーズを把握したうえでの工夫が求められる、などが課題として多く求められ

ていました。

続いて項目2、「学びでつながり、学びを生かすまちづくりの推進」について、「学びを通じた人や地域等のネットワークづくりや、学んだ成果や経験を生かしたまちづくりについて、成果（現状）や課題をご記入ください。また、学習成果や人材を地域に結び付けていくために、何が必要と思いますか」の質問に対する回答です。

この中では、どのように学んだ成果を活動に生かすことができるのかわからない、学びを地域活動に生かす、具体的にどのように関わっていくか学び、学ぶものがわかりにくい、何をどうすればいいのか、これまでしたことが無い方はわからないと思う。

コミュニティが主な対象になっているので市民活動団体等、活動する団体や活動の紹介や積極的に行い、丸亀市内の資源全体像を把握して、繋がりができるきっかけを創っていく必要がある。

人材バンク、学習をした人が登録できるようなそういったものを可視化しマッチングするコーディネーターを配置する。個人や団体が持つスキルを積極的にアピール場、周知するものを構築する必要がある。

活動の場を広げるために、社会教育や多様な地域活動団体との連携を行う。

また、新しくマルタスがオープンし、新しい考え方を導入して若い人を引き付ける事業を展開して欲しい。

また、SDGsについても積極的に計画に位置付けて欲しい。

調査結果を見ると、コミュニティ活動への無関心な方への情報が届きにくいとあるが、無関心な人もなんらかのイベントに参加し、それを見かけることもあるので、大小のイベントを組み入れながら、単発で終わるのではなく、小さな点を繋ぎながら少しずつ根気よく広げていくことが大事だと思う。

というように、この基本目標2の課題としては、学びの成果をどのように地域に還元するのか、またほかの他分野との連携、また人材の把握、発掘、そして新しい施設、マルタス、市民会館等の有効活用が課題としてあがってきているのではないかと思います。

続いて、項目3「家庭・地域・学校における連携の推進」について、「家

庭・地域・学校の連携による地域教育力の充実や、学校や子どもを核としたまちづくりの推進について成果（現状）や課題をご記入ください」と調査いたしました。

地域コーディネーターを全コミュニティへ配置。コミュニティ・スクールの発足、「地域と共にある学校づくり」良いスタートが出来た。しかし、学校が必要とする支援を、地域で上手く支援確保できるか、高齢化と適切な人材確保の難しさを直面している。

コミュニティで活動している人とPTAまた、学校関係者との繋がりが一部の人とは連携しているが、幅広くは関係性が作れていないように感じる。これは人材や関わり方の固定化にあると思われる。

コミュニティ組織と学校、地域家庭は連携しやすいが市民活動団体はなかなか受け入れてもらえない。市内の幼稚園、こども園、小中学校のコミュニティ・スクール化については、形だけ整うのではなく、より一層地域連携が進むことを期待している。学校と地域これも教職員の異動等により学校と地域の間の一線が出来てしまう可能性をはらんでいる。

人との関わりがなくても生きていける、便利な世の中になってきた今だからこそ、あえて、アナログに関わりを持つことが人間力を向上させることに繋がると思う。

地域学校本部は各コミュニティと一体となり、運営していく必要がある。

今の子供達は塾や習い事、スポーツなどで忙しく、色々な教室に参加する人は決まっており、どうすればたくさんの子供達に参加してもらえかが大きな課題。

この基本目標の3の課題としては、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進、また各組織間の連携、子供保護者の参画の方法があげられると思います。

最後に、項目4「次期生涯学習推進計画について」、「第3次生涯学習計画の策定から、この5年間の現状等を踏まえ、お気づきの点や次期計画に期待することがあればご記入ください」という質問に対しての回答です。

調査結果は、戦略的的重点的に施策を決定、実施する必要がある。

コロナに影響されて足踏みするのではなく、これならできる、ICTを

使えばこれができる、集まらずに分散して行う方法はないか等、手数を減らさずに柔軟に対応できるような工夫や仕組みが必要ではないか。

各目標の共通課題である人材不足、関わりを持つ方の固定化、また学ぶ方の高齢化がみられる。生涯学習が一部高齢者のもののようにになっているかのような感じがして、段々と廃れているような気がする。

担い手となる人材育成が急務。若い世代が関われる時間、内容、場の提供等の検討が必要。中高年層、若年層との交流、融合、活動時間が異なり、なかなかできない。

社会のために何かしたいと願う人は少なくなく、これならできるという力を持つ人を育てるために、生涯学習があることを広め、魅力的な講座や興味関心が高い講座を企画して参加者を増やすことを目指してほしい。

ということで、たくさん意見を出していただいております。ありがとうございます。

これを踏まえまして、次の資料、「アンケートや調査からみる現状と課題」をご説明いたします。

先ほどの市民アンケート、今ご説明した社会教育委員の方と特別出席者の方へのアンケート、前回ご説明をさせていただいた各社会教育施設、また、関係各課からの聞き取りやアンケートや調査、そして、生涯学習課としての振り返り、すべての現状と課題をまとめたものがこの資料になります。

青字の部分が市民アンケートの結果を反映させたところです。この課題の下線を引いているところは課題の中でも特に重要なところで、第4次の計画にそのまま反映をさせているところです。

例えば、項目1では、参加者の固定化、生涯学習施設の利用者の減少、また若者や働き盛りの方に向けた事業については十分な成果をあげていない等の現状に対して、課題として、参加者の固定化（高齢化）、様々な社会環境の変化に伴い参加者が減少傾向にある中で、多くの市民の方に参加してもらうための工夫が必要、若い世代の参加促進、SNSを使った新たな情報提供をしていく必要がある等、すべてを集約した形になっております。

この現状と課題をさらにポイントを絞ってまとめたものが、次の資料、

「課題を踏まえた今後の方向性」です。全部で6つの項目があり、特に大事な所、ICTを活用した生涯学習活動の推進、生涯学習環境の整備、公共施設の有効活用、学びの成果の還元、様々な分野との連携、新たな人材の発掘の育成、この6つを柱として、ここに対するアプローチをベースに、第4次計画の策定していくようになります。

これをもとに、更に具体的に体系別に表したものが、次の資料（A3）「施策の体系」になります。

右側は、第4次推進計画の施策の体系で、先ほどの6つの方向性と現状と課題を、主に基本目標、基本施策の部分に反映しております。

前回の第3次計画の目標等について、そのまま引き継ぐこともありますので、そのまま基本施策の中に残しているものもあります。

一番右の具体的施策については、まだ検討中ですので空欄にしております。現状は案の案、たたき台として見て頂けたらと思います。

そして最後に、この体系を具体的施策として反映したものが、カラーのもの、「施策の展開（案）」になります。

赤字のところが新規、変更箇所、青字のところは市民アンケートの該当箇所を示しており、第3次の計画をベースにしています。黒字は前計画よりそのまま引き継いでいく必要がある施策です。

1枚目のところだけを説明しますと、基本目標に「1、多様な年代やライフスタイルに応じた学びのための環境づくりの推進」があり、その下、基本施策（1）「ICTを活用した生涯学習活動の推進、課題、参加者の固定化、若い世代の参画、情報の集約・共有化、新たな発信の仕方」、これに対して、上の具体的施策が、「集約した情報を整理した様々な媒体を活用した情報発信」、それに対する主な取り組みが「SNSを活用した情報発信」で、関連部署というようになっております。

下の具体的施策は、どこにいても学べる環境の整備、主な取り組みは、生涯学習の新たな形として、オンラインなどを活用した講座・研修を開催し、遠方や若い世代の方など新たな層の参画を促す。

また、高齢者、社会教育施設やコミュニティセンターの職員向けに、オンライン講座などの開催方法についての研修を行う、となっております。

これもたたき台のものですが、これをベースにして、第4次の計画に追

	<p>加、修正していきながら、この施策のところを作り上げていきたいと思いをします。</p> <p>以上を踏まえまして、社会教育委員の方、特別出席者の方にご意見を頂きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。</p>
事務局	<p>ここで一点補足、施策の体系（案）A3資料でございますが、基本理念のところは入れておりますが、あくまで案ですので、協議を重ねた上で固めていけたらと思っておりますので、補足させていただきます。以上です。</p>
会長	<p>只今の説明で、何かご質問はありますか。</p>
委員	<p>1番に「ICTを活用した生涯学習活動の推進」を入れられていて、非常に個人的にいいと思います。特に年配の方、ハンディキャップをお持ちの方はICTを活用することによって、非常に学習機会も得られやすいですし、コミュニケーションも含めて非常にいいことだと思います。</p> <p>ただ、お年寄りの中には使えない方もいらっしゃいます。方向性の2番目に「講座等を企画」について触れられているので、具体的な話になって恐縮ですけど、この種の取り組みのところには、そこに重点を置いたような施策があつてしかるべきではないかと思えます。</p> <p>もっと具体的にいうと、事業としてパソコンなのかスマホなのか、メーカーと連携して、スマホの使い方の講座をお願いする。（無償で）向こうにとつたら商売になるでしょうし、そういったものを含めておやりになって、あるいは、継続的に市の方にスマホの相談窓口みたいなものを、スマホ、パソコン、インターネットの使い方自体を生涯学習の一つの項目として取り上げて、丸亀市民全員スマホが使えるみたいなのところにいければいいのではないでしょか。</p> <p>内容的に言うと、SNSを使ったり、インターネットを使ったりして、やることが中身に含まれていると思うので、まずそちらも並行して進めていかないと、絵に描いた餅になるような気がしました。</p> <p>事務局</p> <p>試行的ではございますが、令和3年度から市民学級におきまして、企業の地域貢献活動の一環として、NTTドコモによるスマホの使い方講座を</p>

委員	始めています。そういったところから、講座等広げていけたらと思います。
事務局	それはどれくらい申し込みがありましたか。 定員10名に対して、一番多い講座だと50名くらい申し込みがあり、抽選をしました。コースが4つあり、どこも2倍から5倍くらい申し込みがありました。
委員	高齢者はスマホは持っているけど十分に活用できていません。ウェブ会議だとかそういうのも全然わからない方が大半です。 それで、うちのコミュニティではパソコン教室というのがあり、2種類ありまして、このドコモの市民学級を聞いて飛びついたのでですけど、これはもっともっと広めて継続して頂けたらと思いますね。
会長	他にご意見はございますか。
委員	ちょっといいですか。前に一通り目を通したのですが、「課題を踏まえた今後の方向性」で、上から4番目、「学びの成果の還元」ということで、いろんな仕掛けだとか、仕掛けではなくてもこれが得意とかいうような方をもう少し活用する方法、これをもっと進めて頂ければ新しいリーダー、また、新しい何かが出来てくるのではないかなと思うのです。この辺についてはどうでしょうか。
事務局	方向性の部分ではあまり触れてはいないのですが、この「施策の展開」のところで、10P、基本施策の(8)「学習成果を生かす地域づくり」で、「課題も地域に還元する機会が少ない」ということで、こちらに対する具体的施策、主な取り組みで、真ん中の赤字部分、「学習成果を地域に生かす場と情報の拡充、個人や団体が持つスキルを積極的にアピールできる場をつくる」とあります。 例としまして、生涯学習クラブなどの成果を学校支援の場で披露することで、地域学校協働活動との連携につなげる。具体的な施策を入れさせては頂いておりますが、これに関して言えば、他の分野との連携とも繋がってくると思うので、従来だと関わりのなかったところを繋げていき、より学びの成果を還元できる様な仕組みを作っていけたらなと思います。
委員	例えば、私どもが小学校の学校支援ボランティアにおいて学校の依頼が

	<p>あるもののみでないと、学校の希望に添えません。そこで、コロナ禍ではしておりませんが、一昨年までは、昔遊び等、お年寄りの方が教えたがる方も多く、喜んで参加して頂いています。幼稚園時から続けていて、そういうのは結べるのですが、こういう人材をいかに集めるかが問題だと思います。</p> <p>以前は、地域に回覧で、「私は〇〇が得意というのがあればコミュニティに連絡ください」とアンケートをしたのですが、回答は少数でした。</p> <p>人前に出すのは躊躇している方を引っ張り込んでいけば新しいリーダーなどに繋がってくると思います。何か候補を考えて頂ければと思います。</p> <p>今されている昔遊び等は、老人クラブかなにか地域の組織の方が主導されているのですか。</p>
事務局	<p>いえ、学校支援ボランティアという団体を別に作っています。</p>
委員	
会長	<p>他にご意見はございませんか。</p>
委員	<p>一つご意見します。</p> <p>新しい時代に備えたことで、網羅して解決できればそれでいいと思います。しかし、一つ気になるものは、ウェブ会議やオンライン会議等が増えてくると、ここに書いている職員のスキルアップとそれに対応する時間が取れるかが一つ問題で、前回5年前の時には、「地域コーディネーター」と共に「生涯学習推進員」を設置しております。</p> <p>次期計画案に、「生涯学習推進員」というワードが出ておりませんが、「生涯学習推進員」は生涯学習に対応するコーディネーター役で、専任の職員を（パートでもボランティアでも）配置して欲しい願いがあり、一部助成があり、有難いのですが、それが活用に結びついてはいないのではと感じます。それは、兼務の勤務でありますので、これからのコーディネーターや学習機会が増えたら、それに対応するだけの時間のゆとり、様々な生涯学習の機会を情報提供、収集等していくには、兼務でこなせる問題かと、現在的な課題にしても環境問題から始まり、人権問題等ありますが、一般的に生涯学習の取り組み、それから学校支援、現代的な課題に一つ一</p>

事務局	<p>つこなしていくには兼務では限界があります。</p> <p>そこで、生涯学習課で、実際に地域の活動結果を報告、発表して頂けると、成果が出てくると考えます。</p> <p>ここまでの課題を抱えて、何でも屋というのはちょっと無理かなと5年先、他と比べて体制が遅れたなというのがはっきりすると思いますので、「生涯学習推進員（名前はこれでなくてもいい）」あらゆる学習機会に参加したい人には収集、情報発信をしていく、間を取り持つボランティアないしは、職員が必要です。「地域コーディネーター」は位置付けがはっきりしており、各17コミュニティに配置し、軌道に乗せたと思います。</p> <p>しかし、ここへ書いているような生涯学習一般に視野を広げると、役割を担うものが非常に弱いと思います。これは、学びの機会になるのか、それとも1の目標になるのか、第3次は、基本目標の2「学びでつながり、学びを生かすまちづくりの推進」に位置付けされておりました。</p> <p>1の方の多様な年代やライフスタイルに応じた学びのための環境づくりの推進に入るかは疑問ですが、すべてに通じるものだと思います。</p> <p>今ご指摘いただいた通りでして、今回、議会の決算委員会がこの間終わりました。</p> <p>そこで「生涯学習推進員」の活動がやはり一般に見えてこない指摘がありまして、これは我々としても大きな課題だと思っています。これは、数年前に「地域コーディネーター」と「生涯学習推進員」を丸亀市の生涯学習推進をする上での大きな二本立てとして、前計画の中でも打ち出したのですが、ご指摘の通り、まだ（十分に設置はされていますけれども）見えてこない部分もあるので、それは大きな課題として、取り組んでいく必要があると思っています。</p> <p>ただ、今言われている人件費的なところですが、「地域コーディネーター」も国庫補助を使われるときは若干は出るのですが、基本的には無償でして頂いている中ではありますので、そこはやはり「生涯学習推進員」につきましても、コミュニティの方には、生涯学習推進費をこの制度を入れた時に、合わせて上乗せで入れさせて頂いたと思います。「生涯学推進員」に個々に充てた人件費というのは、今の状況では難しいと思っておりますけれども、いずれにしても、これは大事な施策ですので、この計画の中に</p>
-----	--

委員	<p>も明確に入れ込む必要はあると思います。</p> <p>人件費ではなく位置付けとして、様々な学習に対応する体制づくりは、兼務では無理だと思います。所長、職員等、兼務の兼務ですので。この課題については、一年単位でデータとして結果報告をしていくのとならないのでは差が出ると思います。配置してそれっきりでは成果がでないのではと感じます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。それはこちらも同じ思いです。</p>
会長	<p>他にご意見ありますか。</p>
委員	<p>人を育てるというところで、「人材バンク」という言葉が、あちこち出てきたと思います。「ここにこういう人がいるよ」というのを把握するのはすごく必要だと思います。でも、こちら「施策の展開（案）」中には、9 P、「丸亀市内の資源全体像を把握して（人材バンク）」とありますが、この具体的施策の中に、「人材バンク」が全然ありません。「人材バンク」を作って、それを活用していくには、具体的施策のところにもその項目もいるのではと思います。その面で、誰が、どのようにするのかも加えて頂きたいと思います。</p>
事務局	<p>はい、わかりました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございました。</p>
会長	<p>他にございせんか。</p> <p>ないようですので、続きまして議題3「計画骨子（案）について」事務局より説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい、失礼します。</p> <p>「計画骨子（案）」につきましては、資料3をご覧ください。</p> <p>今回の「計画骨子」につきましては、第3次計画をベースに、先ほどの調査結果等を踏まえて作成しております。</p> <p>例えば第1章5、「生涯学習推進計画とSDGsの関係について」など、現代的課題を盛り込んだ構成に仕上げから進めていく予定でございます。</p>

	<p>す。</p> <p>また、内容等につきましては、次回の社会教育委員の会の時に、具体的に皆さんにお示しできるよう、全体的な素案を、これから仕上げていきたいと考えております。その際は、ご意見等よろしく申し上げます。以上です。</p>
会長	<p>只今の説明で何か質問はありますか。</p>
事務局	<p>まず、「施策体系」の部分だけでもこの場でご意見頂けたらと思います（もしあれば）。そこで、ひとつ「基本理念」のところ、第3次計画から第4次計画にこれはあくまで仮に入れたものですので、まず、今の「基本理念」を変える、修正するべきか、というのをご意見いただけたらと思います。</p> <p>この場でご意見頂いて、次回の会までにもう一度精査したものと考えております。</p>
会長	<p>「施策の体系」の中で「基本理念」と「基本目標」について、この場でご意見がありましたらお聞きしたいと思います。</p>
委員	<p>「丸亀の未来について」ということで、「基本理念」を創られているかと思いますが、個人的な豊かさとか成長など、そちらも合わせて重要な課題かと思います。両方を合わせたような「基本理念」の方が、個人的にはいいかと思います。「個々の人があって街がある」という考えで、個々の人や家庭など様々なところがありますので。</p>
会長	<p>それでは、次回の会にて、皆様にご審議頂きますので、先ほどご指摘頂きましたところも含めまして、個々の人、成長や豊かさも含めた「基本理念」でこんな言葉がいいのではとあればご検討頂きますし、また「目標」のところもご検討頂いたらと言う風に思います。</p>
事務局	<p>もし何か案ありましたら、アドバイス、ご意見頂けたらと思います。皆さんもご検討お願いします。</p>
会長	<p>この部分は4年間使用しますので、慎重に審議が必要ですね。続きまして、議題4その他、事務局よりご説明申し上げます。</p>

事務局	<p>はい。一点ご相談がございます。皆さんにお配りしております「ダイジェスト版」で豊富に写真を使っておりますが、今回も活字で見るよりも実際の写真の方が、活動内容伝がわりやすいかなと思います。</p> <p>コミュニティ、養成塾等、活動団体の皆さんに、お願いしようと思うのですが如何でしょうか。ご相談でございます。</p>
会長	<p>第3次の活動計画同様に、写真をご提供頂けたらということでございます。よろしいですか。</p>
委員	<p>【了承】</p>
事務局	<p>その際にはよろしく申し上げます。</p>
会長	<p>ないようでしたら報告の方に移ります。</p> <p>【報告】</p>
事務局	<p>【第63回全国社会教育研究大会石川大会について】</p> <p>ご案内文章にて、「今回はオンラインの開催のみになる参加」ということで、まだ申込期間が有りますので、こちらでまとめて申込できます。参加費一人3000円、まだ予算もありますので、ご興味がある方はこちらまでお知らせ頂けたらと思います。</p> <p>また、大会の様子は大会終了後にオンデマンド配信されるみたいですので、ライブではなくとも観られるようです。</p> <p>続いて、</p> <p>【第43回中国・四国地区公民館研究集会愛媛大会について】</p> <p>申込は終了しておりますが、こちらも「オンデマンド配信のみ」になっています。この分科会で、A委員さんが助言者で、地域づくりのテーマでご参加されます。私も皆さんにフィードバック出来るものがありましたら是非、ご紹介させて頂ければと思います。</p>
会長	<p>以上説明でした。</p> <p>他にご意見ありますか。</p>
事務局	<p>はい。それでは、次回の日程についてご説明申し上げます。</p> <p>次第の一番下でございます、「第4回の丸亀市社会教育委員の会」、令和3年10月26日（火）の10時から、場所は、生涯学習センター4階の</p>

<p>会長</p>	<p>講座室4です。内容につきましては、計画骨子(案)とありますが、一ヶ月程遅れておりますので、素案まで進めていきたいと考えております。</p> <p>皆様のお手元に会議の案内状の方置かせて頂いておりますので、ご出席のほどよろしく申し上げます。以上です。</p> <p>他に何かありますでしょうか。</p> <p>ご意見が無いようですので、以上で本日の会議はすべて終了いたしました。これで、議長の任を解かせて頂きます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>【閉会】</p> <p>会長、議事進行お疲れ様でした。</p> <p>以上を持ちまして、令和3年度「第3回社会教育委員の会」を終了いたします。委員の皆様、お疲れ様でした。</p>